



11月のご意見・ご要望は1件でした。お気づきの点がございましたら遠慮なくお申し付けください。

少しずつ気温も下がりやっとならしくなってきましたが、日中は暖かい日も多く散歩に出掛けたり、園庭で鬼ごっこをして走り回ったりと元気よく体を動かして遊んでいます。今月行われる発表会を楽しみにしている子ども達。演目の曲が流れると、歌ったり踊ったりお友達と楽しそうにしています。子ども達の負担にならないよう好きな遊びも取り入れながら練習していきたいと思っておりますので、当日は可愛らしい演技にご注目下さい。さて、寒くなるにつれ乾燥する季節となりました。体調を崩さぬよう湿度、室温の調節を行いながら元気よく過ごせるようにしていきたいと思っております。年末年始、ご家族揃って楽しい時間をお過ごし下さい。本年も保育園へのご理解ご協力ありがとうございました。初登園1月4日、元気な子ども達に会えるのを楽しんでいます。

# 12月の行事予定

1	水	
2	木	
3	金	リトミック
4	土	本園交流
5	日	
6	月	
7	火	英語
8	水	ムービー作り (本園交流)
9	木	
10	金	リトミック
11	土	本園交流
12	日	
13	月	
14	火	英語
15	水	歯科検診 (9時)
16	木	避難訓練
17	金	リトミック
18	土	本園交流
19	日	
20	月	発表会リハーサル (本園交流)
21	火	英語
22	水	
23	木	誕生会・クリスマス会 (本園交流)
24	金	
25	土	第15回発表会・職員園内研修
26	日	
27	月	
28	火	英語・弁当会・御用納め
29	水	年末休み
30	木	
31	金	

# クラス状況

## ひよこ組

新入園児が加わり、3名になったひよこ組さん。お友達の方へ近付いて喃語で話しかけたり、頭を撫で合いスキンシップを取ったりと仲良く過ごしています。先月は本園のいちご組と合同で行われた運動会ごっこでは、りす組、れもん組の応援の中、泣かずに楽しむことができました。今月は発表会があります。発表会に向けてお返事「はーい」の練習をしています。家庭でも名前を呼ぶとかわいい「はーい」の返事が聞こえると思います。是非やってみて下さいね。

## りす組

紙オムツからパンツに移行して、トイレトレーニングを頑張っています。遊びの途中や食事中等、子ども達からトイレへ行きたいと伝えるようになり、排泄が成功するとお互いに喜び合っています。又、着替えや手洗い等、身の回りの事への関心が高まり、自分でやってみようとする事が増えてきました。保育者やお友達の仕草、行動を真似し遊びを通して言葉を交わし、コミュニケーションをとり楽しく過ごしています。

## うさぎ組

先月の運動会は、応援に来て下さった保護者の皆様を見て、いつも以上に張り切って取り組む子ども達の姿が見られました。発表会の練習も始まり、「私、〇〇!」と自分のグループを友達に教え合い、それぞれのダンスを楽しみ、練習に励んでいます。園庭遊びでは、だんだん冷たくなりつつある風の中でも、鬼ごっこやかけっこをして元気いっぱい走り回るうさぎ組です!



# 11月のご意見・ご要望

・先日の運動会のリトミックで、ペアを組む演目の際にペアを組めず、演技をする事が出来ませんでした。その姿を見ていて、とても胸が痛みました。変わりに先生が組むなど、1人足りない事への配慮が足りないように感じてしまいました。それから、子どもは泣いてしまい、その他の演目へ参加する事が出来ずにいました。その際の子どもへの接し方についても、もう少し子どもに寄り添ったフォローをして欲しかったです。

この事について、園に伝えてもどこか他人事のような返事でとても悲しくなりました。子どもは運動会を本当に楽しみにしていたので、本番でこのようになってしまった事を本当に悔しく思っていて、自宅に帰宅しても泣いていました。子どものこのような思いを、もう少し丁寧に汲み取り、対応をして欲しかったです。子どもの頑張っている姿、楽しんでいる姿、成長している姿を見られる場であると私自身も楽しみにしていたのに、このようになってしまい本当に残念です。子どもにとっても親にとっても、普段の生活では披露できない・見られない大切な場であったという事を先生方・園長先生にはわかって欲しかったです。・他の保護者からも「運動会で子どもが大泣きしていたのに、誰も対応していなかった。見ていてかわいそうだった」と、問い合わせがあったそうです。

## 《園からの回答》～状況把握・不適切な対応はなかったか～

・運動会の種目として日頃から取り組んでいるリトミックを行う。その際、ペアを組む事が出来なかった子への対応が遅れた。その後の演目は泣き出してしまったが、保育士が一緒に走ったり、エイサーの際は、本児が気持ちを切り替えて演舞に参加しようとする姿が見られたので側で見守っていた。動きの中で、ペアを組む際、全員が組む事が出来ているかを担任を始め、その他の職員で確認をし、対応すべきだったと反省している。

・問い合わせ・意見等を受け、職員ミーティングを行いました。クラスの人数が25名で奇数の為、ペアが作れない子への配慮が欠けていた事について、園長以下、全職員で話し合い、日頃の保育やリトミックでのペアを組む活動になった際にペアを組めなかった子に対し、担任やその場に居合わせた職員が気付けるよう目配りし、ペアを組み、安心して活動が出来るようにしていく。また、一人ひとりに丁寧に寄り添うよう心掛けていくという事を確認した。今後、園内研修において、園児や保護者の気持ちに寄り添った声掛けの仕方について学んでいくという事を確認し、去った11/20の園内研修で保育における園児・保護者に寄り添った言葉かけの仕方、ビジネスマナーについて全職員で学びを深めました。